

令和8年2/3月号

-発行-  
介護老人保健施設  
保倉の里  
保倉の里診療所

# 花みずき

## 春の足音が聞こえてきました

3月はまだまだ寒い日もございますが、桜の花のつぼみが少しずつ膨らみ始め、柔らかな日差しが届くと春の訪れを感じます。3月といえば「ひな祭り」!?!ということで、ご利用者の皆さまから「ひな人形の飾り」を作成していただきました。



下旬には、桜を練り込んだあんを使用した「あんみつ」を堪能していただき、「春」を感じていただきました。もう少し暖かくなりましたら、施設周辺の桜やチューリップ等の花見などを楽しんでいただき、さらに春を満喫していただく予定です。



-食事の紹介-

## 3月行事食「ちらし寿司」

3月の行事食はひな祭りにちなんだ「ちらし寿司」です。「ちらし寿司」の他に茶碗蒸し、お吸い物、キャラメルプリンが並びます。皆さまは、ちらし寿司に使用する具材に理由があることをご存知でしょうか？海老には「年老いて腰が曲がるまで元気に長生きできるように」という意味が込められ、卵には黄身の黄色が金銀財宝を連想させることから「金運上昇」という願いが込められています。この他の具材にも、それぞれに理由があり、とても縁起の良い食べ物です。利用者の皆さまから「酢飯しと調味料の加減が良くて美味しかった！」というお声をたくさんいただきました。今後もご利用者の皆さまに喜んでいただける食事の提供をして参ります。



-灯の回廊-

## うらがわら雪あかりフェスタ

雪中にろうそくを灯すイベント「灯の回廊」が2月28日に開催されました。今回もご利用者の皆様に「幻想的な光」を楽しんでいただこうと、駐車場内の雪壁等に約200本のろうそくを灯しました。日が落ち、暗くなるにつれ浮かび上がってくるあたたかなろうそくの明かり。それをご覧になられたご利用者の皆様から「ばかきれいだったじゃ〜」とたくさんのお好評をいただきました。



季節の変わり目を告げる

## 「節分」

季節の変わり目には邪気(鬼)が生じると考えられており、それを追い払う「豆まき」が習慣となりました。先月、当施設でも「豆まき」を行い、ご利用者の皆様は一年間の無病息災を願い、力いっぱい豆を鬼に投げつけておられました。さぞかし鬼は痛かったでしょうが、ご利用者の皆様の為に奮闘していました。



## 相談(苦情・意見)について

苦情受付状況：R07.10月～R08.3月：0件

当施設におきましては、受付担当者、解決責任者、第三者委員を置き、利用者・ご家族からの相談(苦情・意見)に対応させていただきます。

解決責任者 施設長 高橋 規一(理事長)  
 受付担当者 支援相談員 佐々木 沙織  
 第三者委員 小山 周二 (025-594-3663)  
 大久保 一郎 (025-599-3729)

発行



社会福祉法人 くびき社会事業協会  
 介護老人保健施設 保倉の里



URL: www.kubiki-sjk.or.jp

TEL:025-599-3990

保倉の里診療所

TEL:025-595-3123